

島原ラグビーフットボール協会

代 表 森田 洋輔

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、7月17日（日）島原市平成町の島原復興アリーナにおきまして、「ラグビーボールで遊ぼう」を無事にイベントを開けたことをお知らせいたします。

午前中はタグラグビー教室を開き、初めてラグビーボールに触れる子どもたちを増やすことで、10月に行われる島原タグラグビーフェスタへの参加のきっかけになればとの願いのもと約152名の子どもたちが大村市や長崎市からも参加した。炎天下ではあったが、ボール運び競争などの遊びやタグラグビーの技能講習の後、全員がタグラグビーのゲームを楽しんだ。今後、学校の授業などに外部指導でタグラグビーの出前授業などを取り入れ、普及に努めたいと考えています。同時に、学校先生たちにも、タグラグビーの良さ（男女・年齢を問わず、全員が活躍できる場）を広めたいと考えています。

午後は、島原ラグビースクールを始め、初心者・長崎県内の女子ラグビー選手が九州全域から141名集まり、女子7人制ラグビーの技能向上クリニックが開かれた。

午前・午後とも、元7人制ラグビー日本代表監督である高井明彦さん（コカ・コーラウエスト）ら3名が指導を行い、広いスペースを活かすための走るコースやパスのタイミング、声出しの大切さ等の技能を高めるメニューが組まれた。

参加者は「相手を引きつけるために真っ直ぐ走ることや、逆にスペースに味方を走らせるために斜めに走るコースなどがよくわかった。」と技能のポイントをつかんでいた様子だった。

その後、中学生と高校生に分かれ、島原で初の女子による7人制ラグビーの試合が組まれた。女子とはいえ、テンポの良いパス回しと激しいタックルが随所に見られ、観戦していた関係者や男子高校生ラグーマンも感心していた。また、九州地区オリンピック強化指定選手の沖野真妃さん（二中2年）は、チームメートに指示を出したり、自ら相手陣地内へ仕掛けに行くなど、積極的なプレースタイルで他の女子選手を圧倒する存在感を見せつけていた。

最後になりましたが、皆様の後援により、素晴らしいイベントが開催し、無事終えたことにお礼を申し上げます。ありがとうございました。